

## JERコンクリート補改修協会： 令和8年度総会を開催 マッチングサイトを再構築

JERコンクリート補改修協会は8月5日、東京・江東区の東京ベイ有明ワシントンホテルで令和8年度総会を開催した。今年度は、建設業界の人手不足対策として構築した全国ネットワーク「JERマッチングシステム」の登録者数増加に向けてサイトを再構築し新規会員でも使用しやすい交流型サイトに変更する。デモ施工会や工法勉強会などの有益情報を積極的に提供し、会員同士が情報交換できるサンプルで投稿しやすい環境を作る。技術者の育成に向け、技術研究会の定期開催のほかコンクリート防食技士の資格所有者の増加に向けて、講習・受験・更新の費用助成を継続。JER専門技術者認定技術者の育成に向けて対面講習、在宅講習を開く（会員は無償）。

佐藤匡良会長は冒頭の挨拶で「老朽化施設を計画的に補修・更新しておくストックマネジメントにシフトされ、非開削工法の管更生が主流になっているので今後は当工法でも検討する。神戸市との共同研究では部分補修の工法を開発した。AIやドローンを用いた新しい防食技術や補修製品の開発に向けて、自治体等と一緒に活動していきたい」などと述べた。



佐藤会長

## JERコンクリート補改修協会管路部会： 令和8年度総会を開催 ジックボードVG工法の優位点を明確に

マンホールを中心に非開削の管きょ更生を提案するJERコンクリート補改修協会管路部会は8月5日、東京・江東区の東京ベイ有明ワシントンホテルで令和8年度総会を開催。今年度は、下水道展'26東京、下水道管路管理技術施工展2026堺などに出席し、知名度の向上に努める。協会員向けには「ジックボードVG工法」の審査証明取得に伴う技術研修会を実施し、従来型との違いや留意点の確認、および意見交換を行う。発注者やコンサルに向けては、同工法の工期短縮、非開削施工などの優位点を明確にして、積極的な提案説明会を実施する。施工アニメーションを作成し、PRと動画を活用した訴求活動を展開する。各支部2件以上のデモ施工実施を目指し、新規採用や試用可実績、新規入部会につなげる。



井上部会長

冒頭の挨拶で井上敬介部会長は、「7月3日発表の国土強靱化年次計画2026の事業規模は約4兆1,000億円で、上下水道施設の耐災害性強化などが主要施策に位置づけられている。当部会としてはマンホール更生による耐震性のさらなる向上を目指し、技術開発を進めていく」と決意を述べ、協力を求めた。